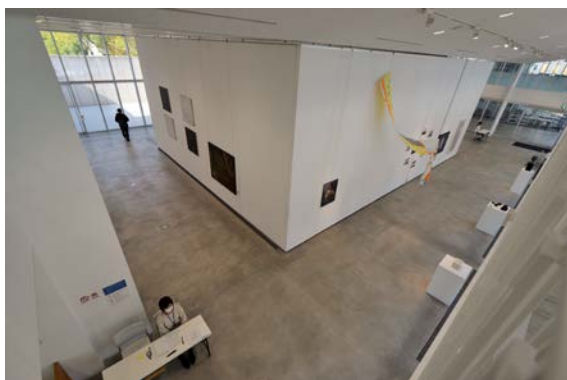
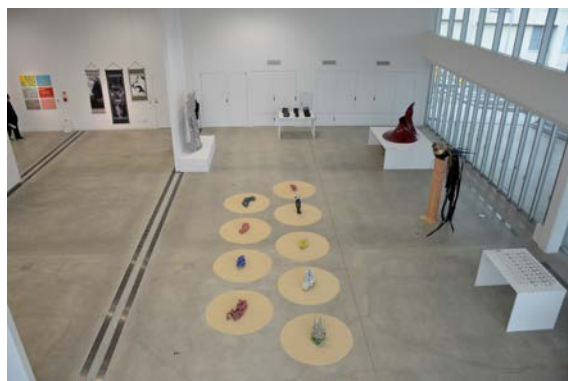




平成25年10月、「旧佐賀大学」と「佐賀医科大学」の統合10周年を記念し、本庄キャンパスの正門エリアに、新たな本学のシンボルとなる美術館を開設しました。これは、教育・研究に有意義に活用できるよう、また、地域・社会貢献の一環として設置されたものです。

美術・工芸に関する作品を展示・収集・保管し、広く地域の方々の観覧に供するとともに、教育及び研究に資することにより、芸術及び文化の振興を図ることを目的としています。

ガラス張りとし純白の空間は、内と外、人と人がつながり広がり合うことを願う本学の姿勢の象徴です。大型可動壁により多目的に活用できる大展示室をはじめ、特長ある展示スペースを活かした各種展覧会や公開授業、ワークショップなど、様々な企画が可能です。





附属図書館本館は、総座席629席の他にグループ学習室、マルチメディアコーナー、閲覧個室、ラーニング・commonsなどを備え、利用スペースに無線LAN等、ネットワークを利用した学習環境を整備し、学生及び研究者の学習、研究の能率向上を図るよう配慮しています。

医学分館は、座席244席を備え、利用スペースに検索及び学習用のパソコンを配置するとともに、図書等の蔵書構成、配置等について、十分に検討し、医学部の理念である自己学習と自己評価が効率良くできるよう配慮しています。

また、全国的な学術情報ネットワークに参画し、膨大かつ多様な学術情報を提供するとともに、「佐賀大学附属図書館貴重書デジタルアーカイブ」や「機関リポジトリシステム」を導入し、本学の学術情報の発信機関としての役割を担っています。



附属図書館 本館



医学分館



「佐賀大学附属図書館貴重書デジタルアーカイブ」  
ウェブサイトトップ

「佐賀大学附属図書館貴重書デジタルアーカイブ」では、本館が所蔵する貴重書、「小城鍋島文庫」と「市場直次郎コレクション」について紹介。関連データベース「小城藩日記データベース」へのリンクも設定。

- ・ 佐賀大学附属図書館貴重書デジタルアーカイブ：<https://www.dl.saga-u.ac.jp/>
- ・ 小城藩日記データベース：<https://crch.dl.saga-u.ac.jp/nikki/>

### 「小城鍋島文庫」

小城鍋島藩の藩主の家に、代々伝えられた和漢の古典籍および歴史史料を中心とした、総数約一万点におよぶコレクション。

### 「市場直次郎コレクション」

故市場直次郎氏が蒐集した、江戸時代後半から明治以降にかけての文人の書画類（扇面、掛軸、短冊など）及び和書類（大津絵節、草紙など）のコレクション。

### 関連データベース「小城藩日記データベース」

小城藩の業務日誌である「小城藩日記」の記事を要約した「日記目録（江戸時代作成）」をデータ化し、記事の検索および当該記事の画像の表示を可能にしたもの。



本センターは、本庄キャンパスと鍋島キャンパス（分室）に設置しており、学生及び教職員の健康管理を行っている。

1. 定期健康診断、特別健康診断
2. 身体・精神面の健康相談やハラスメント相談
3. ケガや発熱・腹痛などの病気に対する応急処置
4. 学生の健康診断証明書発行
5. 感染症対策
6. 安全衛生管理に関する業務





海洋エネルギー研究所は、海洋エネルギーに関する研究教育及び科学技術を戦略的に推進する国際的な先導的中核研究拠点として、海洋エネルギーに関する研究教育を総合的かつ学際的に行い、その研究基盤を確立するとともにその利用促進に貢献することにより、21世紀の地球規模でのエネルギー問題と環境問題の解決に寄与することを目的としています。

特に、新しい概念を導入した海洋温度差発電システムと波力発電システムを中心に、海洋流体エネルギー、海洋の有する膨大な種々のエネルギー及びエネルギー物質の回収とその複合的高度利用、海洋エネルギー利用における海洋環境の解明に関する基礎的応用的及び実証的な研究を行っています。また海洋エネルギーに関連する全国の研究者及び学協会等の要望に対応して、研究施設及び設備を開放するとともに、国内及び海外の研究者と協力して、我が国の海洋エネルギーに関する学術研究を推進する共同利用・共同研究拠点となっています。



1. 海洋エネルギーに関する総合的な研究、特に、海洋温度差エネルギー・波浪エネルギー・潮流エネルギー・洋上風力エネルギーに関する基礎的・応用的研究
2. 本学の学生に対する教育研究指導
3. 本学の海洋エネルギーに関する教育研究の支援及び推進
4. 国内及び海外の技術者の研修
5. 国内及び海外の海洋エネルギーに関する研究機関等との連携及び研究協力の推進  
(海洋エネルギーに関する中核的研究拠点の役割)
6. 国際シンポジウム、フォーラム、国際若手人材育成事業、公開講座等の開催
7. 定期刊行物「海洋エネルギー研究」の刊行
8. 海洋エネルギーに関する国際的なデータベースの構築と情報発信

## 設置機器

海洋温度差発電実験装置 (30kW、9kW)	大型コンピューター
海水淡水化装置	温度差発電研究プラント
水素製造・貯蔵装置	海洋流体エネルギー試験水槽
リチウム回収実験装置	回流水槽
海洋深層水環境実験装置	







佐賀大学総合分析実験センターは教育研究支援を目的として設立された全学共同利用施設で、生物資源開発部門、機器分析部門、放射性同位元素利用部門、環境安全部門の4部門からなり、本庄・鍋島キャンパスに各部門が設置されています。当センターでは、次のテーマに対する教育・研究支援をミッションに、学内だけでなく、学外への貢献のために活動しています。



1. 高性能分析装置を用いた機器分析に関する教育・研究ならびに支援
2. 遺伝子組換え実験に関する教育・研究ならびに支援
3. 動物福祉に基づいた動物実験に関する教育・研究ならびに支援
4. 放射線および放射性同位元素利用に関する教育・研究ならびに支援
5. 環境分析および作業環境の維持管理に関する教育・研究ならびに支援

## 設置機器

超伝導高分解能フーリエ変換核磁気共鳴装置 (NMR)	陰圧一方向式飼育ラック、クリーン飼育ラック、およびバイオセーフティ飼育ラック
電子スピン共鳴装置 (ESR)	マイクロインジェクション装置
X線構造解析装置 (結晶・粉末)	バイオハザードルーム
電子顕微鏡 (透過型・走査型)	放射線管理区域 (放射線実験室)
共焦点レーザー顕微鏡	放射線照射装置 (Cs-137ガンマ線照射装置、エックス線照射装置)
質量分析装置 (GC-MS, LC-MS/MS)	遺伝子組換え植物温室
DNA シークエンサー	





総合情報基盤センターは、佐賀大学における学術情報を支える基幹情報システムを統括するとともに、大学の学術情報環境の整備推進を図ることを目的としています。

1. 基幹情報ネットワークの整備及び維持に関すること。
2. 共通の学術情報システムの整備及び維持に関すること。
3. 事務処理用システム基盤の整備及び維持に関すること。
4. 大学データベースシステムの整備及び維持に関すること。
5. 情報セキュリティ対策に関すること。
6. 学内及び地域情報化の技術支援に関すること。
7. 事務情報化の推進及び支援等に関すること。
8. その他共通の情報基盤の整備及び維持に関すること。



## 設置機器

### 学術情報基盤システム

- ・ 大学データベースシステム
- ・ 統合認証システム
- ・ 業務用仮想システム
- ・ 事務端末管理システム

### キャンパス情報ネットワークシステム

- ・ ファイアウォールシステム
- ・ 学術情報ネットワーク (SINET) 接続システム
- ・ 学内有線LANシステム
- ・ 学内無線LANシステム



21世紀社会には、新たな学問体系が求められています。古代・中世以来、佐賀はアジア各国との個性豊かな交流関係を築きあげ、近世にはヨーロッパとの積極的な文化的接触を図り、19世紀後半になると、近代西欧文明・学問体系を先進受容しました。それがどのような歴史文化を基盤としていたのか、また定着し展開したのかは、現在問われるべき重要な課題です。本センターは地域（佐賀）の固有性と普遍性を探究し、新たな学問体系としての地域学を創造します。考古学、国文・文献学、洋学・思想史、地域史・史料学の4研究部門に専任・併任教員を配置し、地域住民・市民と大学との地域連携の学術センターとして社会への貢献を目指します。



センターでは、佐賀大学所蔵の歴史資料の活用をすすめるため、以下のデータベースを運用・公開しています。

- 小城藩日記データベース・・・佐賀藩の分家・小城藩で作成された「小城藩日記」（政務記録用）について、江戸時代に作成された記事目録をもとに事項検索・画像閲覧ができます。
- 佐賀藩関係「日記」資料データベース・・・上記「小城藩日記」以外の小城藩関係の「日記」資料（諸役所の記録）のほか、佐賀県立図書館所蔵蓮池鍋島文庫の「蓮池藩請役所日記」について、同一年月日の各「日記」資料の画像を簡単に閲覧できます。
- 近世医学書データベース・・・センターで収集したおもに近世期の医学書について、検索・画像閲覧ができます。

## 所蔵資料

佐賀県関係古文書 421点

近世・近代医学書 301点

佐賀県関係図書 約300冊

研究書・資料集など 約1800冊

### 佐賀大学蔵『解体新書』について



解体新書本文・序図表紙



男女の図

佐賀大学は、平成23年3月に『解体新書』の実物を入手しました。『解体新書』は、ドイツの医師クルムスの解剖書の蘭訳本（通称：ターフェル・アナトミア）を、杉田玄白や前野良沢らが苦勞して日本語に翻訳して、安永3年（1774）に『解体新書』として出版したものです。それまでの漢方医学における五臓六腑説という人体観を完全否定し、西洋医学解剖学の正確さを我が国に伝え、以後の西洋医学の普及と我が国近代医学の発展につながった画期的な書です。

本文編巻1から4巻（95丁）の合本1冊と序図（図版・36丁）1冊の2冊本の体裁となっており、本書を読み解くことで、医学のみならず、真理探究の志をもった先学の志に触れることができます。なお、本書の原蔵者は佐賀地域の江戸時代医師と考えられ、随所に見られる書き込みなどから当地域への西洋医学の普及の手がかりを得ることもできます。



肥前セラミック研究センターは、肥前窯業圏の地域文化を基盤とした陶磁器・セラミック産業界と協働して芸術・科学・マネジメントが融合した国際的学術・研究拠点を形成することにより、地域の活性化に貢献することを目標としています。特に、地元肥前窯業界を中心に、国内他産地や海外の公的機関、陶磁器及びセラミック企業や関係団体、他大学・研究機関との連携により「やきものイノベーション」の創出を目指します。



1. ニーズ（市場）に基づく新しい付加価値（デザイン、機能）を有するやきものの創生と新市場の創出を目指します。
  - ・やきもののデザインと芸術的表現
  - ・やきものの科学的研究と新やきもの創製
  - ・肥前の陶磁器産業研究
2. やきもの創作者（産業人から作家まで）が横断的且つ相互に交流し、これまでの活動領域を超えて新しい価値を創造し、さらに学部・大学院教育効果を促進させます。
3. 肥前地域の産業発展およびやきもの文化への貢献、欧州および東アジアにおけるやきもの教育・研究機関との交流による相互発展を目指します。
4. 肥前窯業圏において講演会やイベントを開催し、地域の方々との情報交換を行うとともに、窯業人材の育成・教育を行います。

## 設置機器

3次元X線 CT システム	化学分析機能（EDX）付き走査型電子顕微鏡（SEM）
粘度・粘弾性測定装置	粉末X線回折装置（XRD）ほか



# リージョナル・イノベーションセンター



本学の研究や産学連携の機能強化のため、リサーチアドミニストレーター（URA）の組織化を図り、「リージョナル・イノベーションセンター」を設置することにより、イノベーションの創出を推進します。リージョナル・イノベーションセンターは、本学の研究力の向上に向けた支援を行うとともに、佐賀県を中心とする産業界や地域機関との連携の下、大学としての組織的な支援を強化します。更に、佐賀大学の基本的な目標でもある、地域とともに未来に向けて発展し続ける大学として、地域を志向した社会貢献・研究を推進し、地域活性化の中核的拠点となることを目指します。また、令和3年9月には、本学における産学連携を推進し、地域に開かれた佐賀大学の産学交流体制に寄与することを目的として整備した「佐賀大学産学交流プラザ」へセンター機能を移転し、さらに活動を強化しています。





平成23年10月1日に設置された国際交流推進センターは、海外との双方向型の教育・研究交流の実現およびアジアの知的交流拠点を形成するという国際化の目的を掲げ、これまで草の根レベルで行ってきた国際交流を大学として組織的に支援する役割を担っています。また、これまで実践してきた留学生に対する国際教育プログラムの拡充、研究者の受け入れのさらなる推進だけでなく、本学の学生・研究者の海外派遣の拡大等、国際交流の新しい潮流を作り出し、大学の国際化の進展に寄与する取り組みも展開します。さらに、本センターは県内外の行政機関や国際交流団体、地元企業などと連携を取りながら、佐賀地域の国際化を推進し、支援する組織として機能することも目指しています。



海外の文化や国際交流への関心を高めることを目的として開催「さがん国際フォーラム」

## 国際交流推進センターの役割

1. 学生の海外派遣事業
2. 留学生・研究者の受け入れ事業
3. 大学の国際化支援制度の創設
4. 企業や地域と連携する国際化事業の展開
5. 国際戦略構想に基づく国際交流事業の推進

## 国際交流推進センターの役割

学生の海外派遣事業

留学生・研究者の受け入れ事業

大学の国際化支援制度の創設

企業や地域と連携する国際化事業の展開

国際戦略構想に基づく国際交流事業の推進



# 教育学部附属幼稚園



本園では幼児期の発達課題を踏まえ、各幼児の発達・個性・自発性を尊重し豊かな人間性を育むことを目的としています。また、学部と密接な連携をとり幼児教育の理論と実践に関する研究・調査や教育実習を行うと同時に、研究発表会や子育て支援ワークショップの開催・園庭開放を行い、佐賀県の幼児教育のセンター的役割や地域に開かれた附属幼稚園を目指しています。令和元年より夕方17時までの預かりを開始。令和3年より小規模幼保育事業所と連携幼保連携研究開始。



令和4年5月1日現在

学年	3歳	4歳	5歳	計
学級数	1	1	1	3
定員	20	35	35	90
現員	18	25	23	66

# 教育学部附属小学校



本校は、附属幼稚園、附属中学校と連携し、幼小連携、小中連携教育を研究。また令和2年より放課後児童クラブを開始。



令和4年5月1日現在

学年	1	2	3	4	5	6	計
学級数	3	3	3	3	3	3	18
定員	105	105	105	105	105	105	630
現員	105	103	105	104	103	103	623



# 教育学部附属中学校



本校は、大学と一体になり教育研究を行い、その成果を広く公開し、中学校教育の進展に寄与しています。知、徳、体の向上を目指し、確かな知識を身につけ、学び続ける生徒を育成することと、次世代リーダーを育てることを学校教育目標に掲げています。また、生徒の自主性を大切にする校風により学校行事等は大変活発に行われています。附属小学校と連携して小中連携教育の研究を行っています。



令和4年5月1日現在

学年	1	2	3	計
学級数	4	4	4	12
定員	144	144	144	432
現員	144	144	141	429

# 教育学部附属特別支援学校



本校は1978年に、佐賀大学教育学部の附属校の一つとして知的障害のある児童生徒のために設立されました。5月1日現在で、55人の児童生徒が小学部、中学部及び高等部に在籍しています。

本校では、家庭や地域と連携・協力しながら、児童生徒の自立と社会参加を目指して、指導・支援しています。また、四附属学校園の特別支援教育のセンター的機能として、各校園教育における特別な支援を必要とする児童生徒及びその教員への支援を行っています。



令和4年5月1日現在

学年	小学部	中学部	高等部	計
学級数	3	3	3	9
定員	18	18	24	60
現員	18	17	20	55





本センターは、1984（昭和59）年4月に教育実践研究指導センターとして発足し、2002（平成14）年4月に教育実践総合センターに改組・拡充されました。本センターは、教育臨床部門、教育実践部門及び教職支援部門の3部門から構成されており、附属学校（園）等、学内外の関係機関との連携のもとに、理論的・実践的研究及び指導や地域貢献活動等を行い、教育実践の質的向上に資することを目的としています。令和2年度から併任教員を増員し、教育学部、教職大学院、県、市、町の教育委員会、附属学校園の連携を堅実に図るため中心的役割を担っています。





病院理念 患者・医療人に選ばれる病院を目指して

病床数 604床



診療科	膠原病・リウマチ内科	呼吸器内科	脳神経内科	血液・腫瘍内科	循環器内科	腎臓内科
	消化器内科	肝臓・糖尿病・内分泌内科	皮膚科	一般・消化器外科	呼吸器外科	心臓血管外科
	脳神経外科	整形外科	泌尿器科	形成外科	放射線科	リハビリテーション科
	精神神経科	小児科	麻酔科蘇生科	産科婦人科	眼科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
	ペインクリニック・緩和ケア科	歯科口腔外科	救急科	総合診療科	病理診断科	

中央診療施設等	検査部	手術部	放射線部	材料部	高度救命救急センター	総合診療部
	集中治療部	輸血部	病理部	光学医療診療部	医療情報部	先進総合機能回復センター
	MEセンター	感染制御部	周産母子部(分娩室・NICU)	人工透析室	がんセンター	栄養治療部

	薬剤部			看護部		
横断的診療班	褥瘡対策班	緩和ケア診療班	栄養サポート班	輸血療法室	臨床腫瘍班	脳卒中診療班
	外来化学療法室	口腔ケアサポート班	呼吸サポート班	糖尿病診療班	横断的止血・血栓診療班	結節性硬化症ボード
	院内急変対応班					

診療支援部門	医療安全管理室	メディカルサポートセンター	遺伝カウンセリング室	臨床研究センター	卒後臨床研修センター	診療記録センター
	ハートセンター	画像情報処理サービスセンター	Aiセンター	地域医療支援センター	動作解析・移動支援開発センター	肝疾患センター
	造血幹細胞分離保存センター	脳血管センター	緩和ケアセンター	地域総合診療センター（佐賀市立富士大和温泉病院及び独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター内）		
	こどもセンター	メディカルバイオバンクセンター	未来へ向けた胃がん対策推進事業センター	医師育成・定着支援センター	炎症性腸疾患（IBD）センター	がんゲノム診療部門
	臨床倫理コンサルテーションチーム					

令和3年度

入院			外来			
患者延数	1日平均患者数	病床稼働率	新来患者数	再来患者数	患者延数	1日平均患者数
168,423	461人	76.4%	15,494人	220,938人	236,432人	977人



本センターは、高度に発展し分化した専門分野の連携を図り、住民本位の地域医療連携モデルの作成と実現、地域医療の包括的な発展に貢献する研究・人材育成を目的とします。数理解析部門は、医学部の研究活動を統計解析の側面から支援すると同時に、教育IR室としての役割を担っています。教育IR室は医学部の教育に関する様々な指標を用いて、客観的に把握しづらい教育の質を可視化しています。可視化された教育の実情をもとに、医学教育開発部門の専任教員が中心となって必要な教育改革を行うとともに、その成果を教育IR室が継続的にモニタリングすることによって、根拠に基づく継続的な教育改革を可能とするシステムの構築を目指しています。

## 医学教育開発部門

- ・国際標準を基盤とした地域医療志向型医学教育プログラム
- ・問題志向・自己主導型学習者養成プログラム
- ・医学教育方略・教材の開発

## 数理解析部門（教育IR室）

- ・医学科・看護学科あるいは附属病院と連携した基礎・臨床研究の推進
- ・学部及び大学院における統計学・物理学の教育・研究
- ・医学教育プログラムの評価支援





本センターは医学部及び附属病院における研究推進、教育研究支援並びに学内外への情報発信を目的に平成19年4月に開設されました。本センターには研究推進部門と研究支援部門の二つの部門が配置されています。前者は主として先端医学研究の推進を、後者は主として先端医学研究に対する技術支援並びに教育支援を行っています。研究支援部門の具体的な業務は13名の技術職員及び教務員からなる教育研究支援室が担当しています。教育研究支援室は6つのサブグループに分かれ、それぞれ専門的な技術支援を行っています。

## 研究推進部門

- ・ 先端医学研究の推進

## 研究支援部門

- ・ 医学部及び附属病院における研究と教育に対する技術支援
- ・ 病因病態科学支援グループ
- ・ 生体構造機能学支援グループ
- ・ 分子生命科学支援グループ
- ・ 社会医学支援グループ
- ・ 地域医療支援グループ
- ・ 情報メディア支援グループ





本センターは平成26年4月に開設されました。地域の看護職者の教育・研究・臨床実践・マネジメント能力を高めるための生涯継続教育を支援し、また、人事交流や国際交流を支援することにより、看護職者のキャリア向上を目指すとともに、地域の看護学の発展ひいては地域医療に貢献することを目的としています。支援は次の3部門から成ります。

## 教育研究実践支援部門

- ・地域の看護職者に対する生涯継続教育プログラムを「佐賀大学授業開放」として学部・大学院の複数の科目を提供
- ・教育・研究・実践に関する支援・指導

## 人事交流支援部門

- ・看護学科，附属病院，地域の病院，行政間の人事交流の支援

## 国際交流支援部門

- ・看護学科や地域の看護職者の国際交流，国際看護活動の支援，外国人看護職者の学習支援



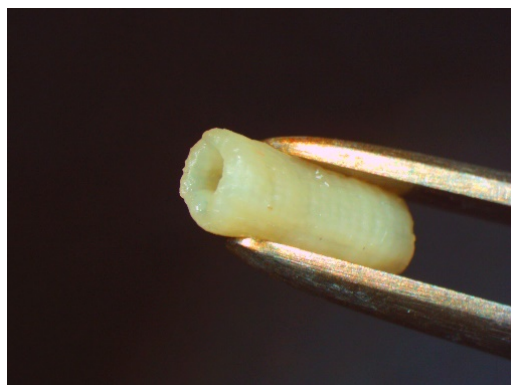
海外看護研修



教育教材の開発

# 医学部附属再生医学研究センター

本センターは医学部の再生医学に関する研究を推進し、新しい医療技術開発を促進することで、医学教育及び医工学研究の人材育成の場を構築し、国内外の企業、大学及び医療機関等の連携拠点となることを目指し、地域の発展並びに医療技術の向上に貢献することを目的に2019年4月に開設されました。本センターでは病気や怪我で苦しむ患者さんの為に、ヒト細胞由来人工組織の開発、作製から有効性及び安全性の検証まで実施しており、将来的には自分の細胞で様々な病気が治療出来る組織、技術を開発することを目標に研究活動に取り組んでいます。





本センターは平成24年10月に発足した新しい農学部附属施設であり、生物生産科学部門、健康機能開発部門から構成されています。佐賀市久保泉町の久保泉キャンパス（本部）と唐津市の唐津キャンパスを拠点に、プロジェクト型の学際的・国際的な教育研究を推進しています。久保泉キャンパスは、農学部がある本庄キャンパスから北東へ約12km離れたところにあり、水田、茶園、落葉果樹園、蔬菜園、飼料園、放牧場、有機圃場（以上約10ha）や各種の建物（講義室、宿泊施設、農具舎、畜舎、加工棟、温室など）があります。久保泉キャンパスから北へ約3km離れた脊振山系の金立山南面には柑橘園（7.6ha）があります。ここには、世界各地から集められた柑橘類があり、教育・研究に利用されています。さらに、これからの新しい農業に対応するため、本庄キャンパス内に最新の設備を誇る植物工場を新設しました。唐津キャンパスは、本学から北西50kmに位置し、48aの敷地内には3つの研究室と実験室等を擁する3階建の研究棟と実験圃場と温室があります。



# 学年暦

前学期		後学期	
4月 1日	前学期始	10月 1日	開学記念日・後学期始
4月 11日	前学期開講	10月 3日	後学期開講
8月 1日	前学期定期試験 (8月5日まで)	12月 24日	冬季休業
8月 9日	夏季休業 (9月30日まで)	2月 9日	後学期定期試験 (2月15日まで)
9月 22日	学位記授与式 (9月期)	3月 24日	学位記授与式 (3月期)
9月 30日	前学期終	3月 31日	後学期終

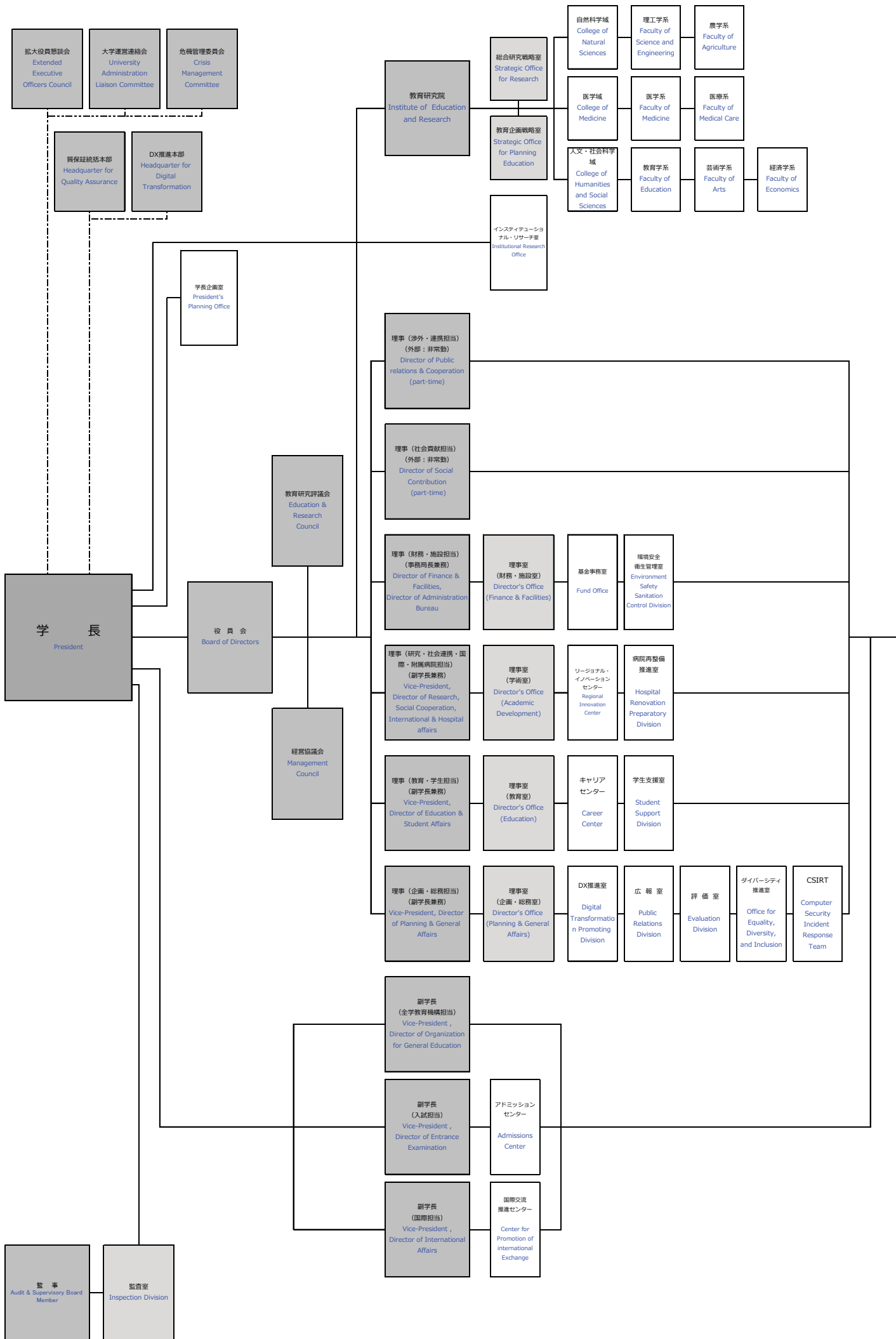


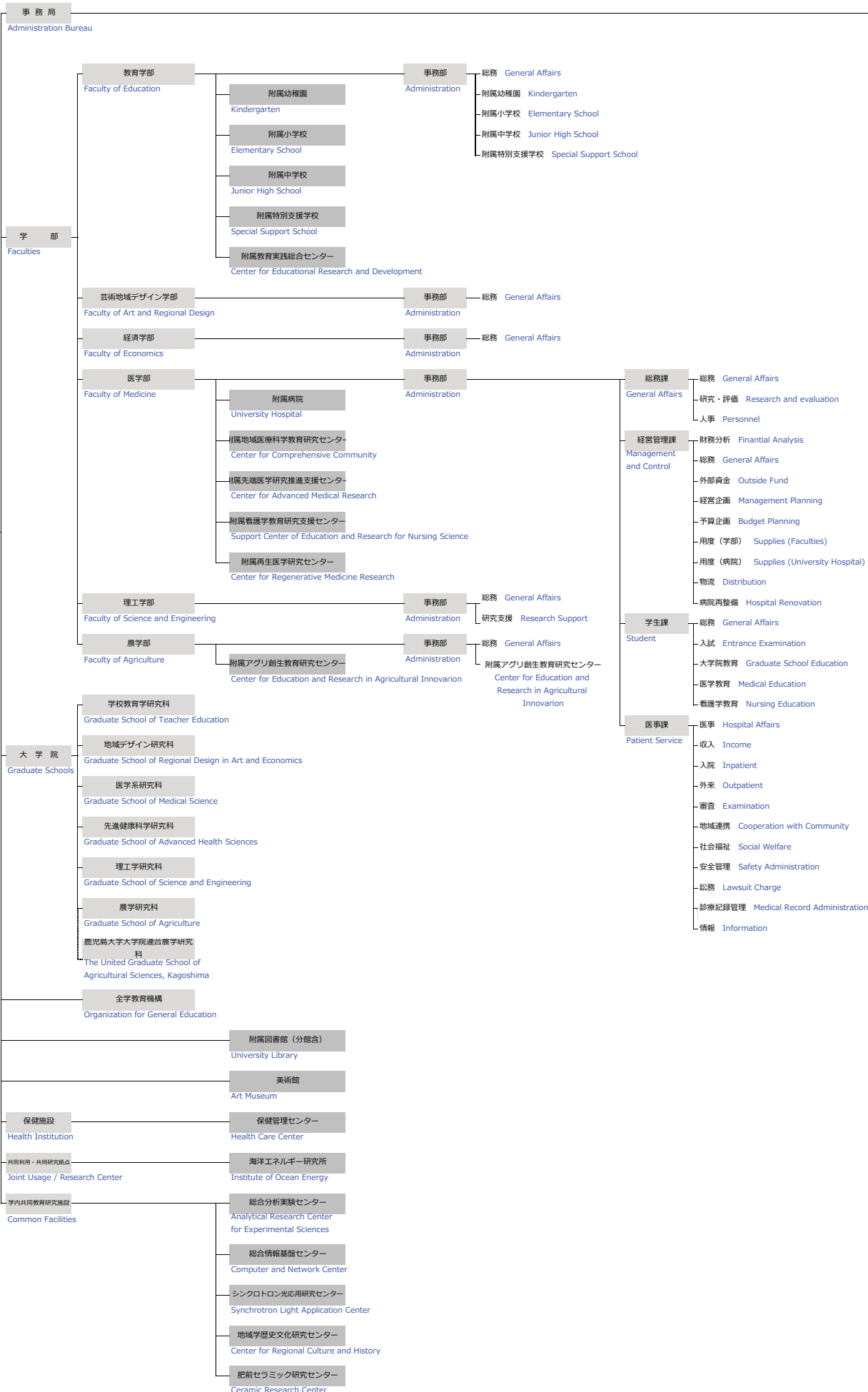
# 役職員

令和4年5月1日現在

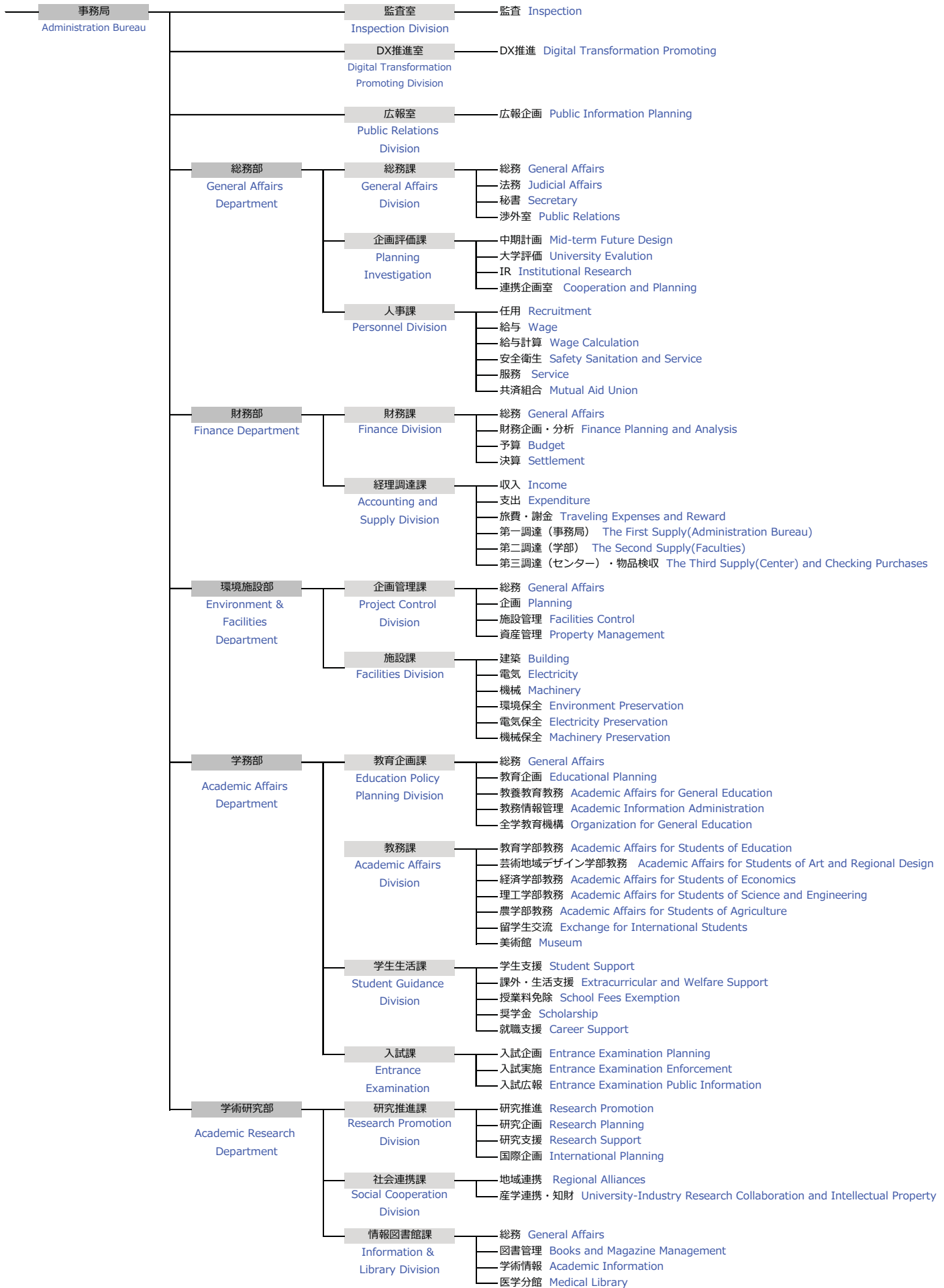
学長	兒玉 浩明	教育研究評議会	
理事（企画・総務担当）・副学長	渡 孝則	学長	兒玉 浩明
理事（教育・学生担当）・副学長	山下 宗利	理事（企画・総務担当）・副学長	渡 孝則
理事（研究・社会連携・国際・附属病院担当）・副学長	寺本 憲功	理事（教育・学生担当）・副学長	山下 宗利
理事（財務・施設担当）・事務局長	山崎 英司	理事（研究・社会連携・国際・附属病院担当）・副学長	寺本 憲功
理事（社会貢献担当）（非常勤）	吉田 哲雄	理事（財務・施設担当）・事務局長	山崎 英司
理事（渉外・連携担当）（非常勤）	竹下 真由	人文・社会科学域長・経済学系長・経済学部長	樫澤 秀木
監事	佐々木 寿明	医学域長・医学系長・医学部長	末岡 榮三朗
監事（非常勤）	南谷 朝子	自然科学域長・理工学系長・理工学部長	豊田 一彦
顧問	井上 萬二	教育学系長・教育学部長	小野 文慈
役員会		芸術学系長・芸術地域デザイン学部長	吉住 磨子
学長	兒玉 浩明	医療系長・医学部附属病院長	野口 満
理事（企画・総務担当）・副学長	渡 孝則	農学系長・農学部長	大島 一里
理事（教育・学生担当）・副学長	山下 宗利	副学長・全学教育機構長	岩本 諭
理事（研究・社会連携・国際・附属病院担当）・副学長	寺本 憲功	附属図書館長	中里 理子
理事（財務・施設担当）・事務局長	山崎 英司	総合情報基盤センター長	堀 良彰
理事（社会貢献担当）（非常勤）	吉田 哲雄	教育学部教授	甲斐 今日子
理事（渉外・連携担当）（非常勤）	竹下 真由	芸術地域デザイン学部教授	田中 右紀
経営協議会		経済学部教授	中村 博和
学長	兒玉 浩明	医学部教授	出原 賢治
理事（企画・総務担当）・副学長	渡 孝則	理工学部教授	佐藤 和也
理事（教育・学生担当）・副学長	山下 宗利	農学部教授	一色 司郎
理事（研究・社会連携・国際・附属病院担当）・副学長	寺本 憲功		
理事（財務・施設担当）・事務局長	山崎 英司		
副学長・全学教育機構長	岩本 諭		
医学部附属病院長	野口 満		
大正製薬株式会社取締役相談役	大平 明		
全国家庭養護推進ネットワーク共同代表 社会福祉法人慈愛園相談役	潮谷 義子		
株式会社佐賀銀行取締役会長	陣内 芳博		
株式会社オプティム代表取締役社長	菅谷 俊二		
株式会社戸上電機製作所代表取締役社長	戸上 信一		
株式会社佐賀新聞社社長	中尾 清一郎		
宮島醤油株式会社代表取締役会長	宮島 清一		
佐賀県知事	山口 祥義		

運営組織図 ORGANIZATION





# 運営組織図 ORGANIZATION



# 役職員数

令和4年5月1日現在

区分	学長	理事	監事	計	教授	准教授	講師	助教	助手	校長	教頭	指導教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	計	その他の職員	合計
学長	1			1														1(0)
理事		6(1) <2>		6(1)														6(1)
監事			2(1) <1>	2(1)														2(1)
事務局																	198 (70)	198 (70)
アドミッションセンター					1		1									2		2(0)
キャリアセンター						1										1		1(0)
リージョナル・イノベーションセンター					1											1	4(1)	5(1)
国際交流推進センター						2	1									3	1(1)	4(1)
教育学部					25(2)	14(7)	1									40(9)	5(4)	45 (13)
附属幼稚園										1(1)			3(3)	1(1)		5(5)		5(5)
附属小学校										1	1	1	22(5)	1(1)	1(1)	27(7)	1	28(7)
附属中学校										1(1)	1(1)		21(6)	1(1)		24(9)	1	25(9)
附属特別支援学校										1(1)	1		28 (18)	2(2)		32 (21)	1(1)	33 (22)
附属教育実践総合センター					1	2										3		3(0)
芸術地域デザイン学部					11(3)	12(3)	1									24(6)	6(2)	30(8)
経済学部					16(3)	16(6)	1(1)	1	2(1)							36 (11)	4(1)	40 (12)
医学部					43(8)	35 (10)	6(3)	85 (24)								169 (45)	122 (63)	291 (108)
附属病院					5(2)	8(2)	30(4)	73 (26)								116 (34)	919 (733)	1035 (767)
附属地域医療科学教育研究センター					2	3(1)										5(1)		5(1)
附属先端医学研究推進支援センター																	12(7)	12(7)
附属再生医学研究センター					1			2								3		3(0)
理工学部					55	48(2)	6(1)	14(1)								123 (4)	25 (4)	148 (8)
農学部					16(2)	25(2)	2	4								47(4)	9(2)	56(6)
附属アグリ創生教育研究センター					1	5	1									7	5(1)	12(1)
学校教育学研究科					3	8										11		11(0)
全学教育機構					9(2)	3(1)	1	1								14(3)		14(3)
保健管理センター						1	1(1)	1(1)								3(2)	4(3)	7(5)
海洋エネルギー研究所					4	4		4(1)								12(1)	1	13(1)
総合分析実験センター						3		3(1)								6(1)	10(6)	16(7)
総合情報基盤センター					1	2		1								4	5	9(0)
シンクロトロン光応用研究センター					2	1		4								7		7(0)
地域学歴史文化研究センター					1	1										2		2(0)
肥前セラミック研究センター						1(1)		1								2(1)		2(1)
現員計	1(0)	6(1) <2>	2(1) <1>	9(2)	198 (22)	195 (35)	52 (10)	194 (54)	2(1)	4(3)	3(1)	1(0)	74 (32)	5(5)	1(1)	729 (164)	1,333 (899)	2,071 (1,065)

(注) 1. 理事、監事欄の 〈 〉 書きの数は、非常勤役員で内数。

2. ( )書きは女性教職員で内数。

3. 職員数には、特定教育職員、特任教員、寄附講座教員、病院助教等、研究助教等、外国人研究員、特定看護職員、契約医療技術職員、契約コーディネーター、契約看護助手、再雇用職員及び契約医療事務職員を含み、休職者及び育児休業者も含む。



# 学生数（学部）

令和4年5月1日現在

学部	学科・課程	入学定員	3年次編入学定員	収容定員	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		男計	女計	計	
					男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
教育学部	学校教育課程	120		480	46	78	48	77	41	83	41	90					176	328	504	
	計				46	78	48	77	41	83	41	90					176	328		
		120	0	480	124		125		124		131									504
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科	110		440	24	90	22	92	25	99	28	109					99	390	489	
	3年次編入		5	10					(5)	(2)	(6)						(2)	(11)	(13)	
	計				24	90	22	92	25	99	28	109					99	390		
		110	5	450	114		114		124		137									489
文化教育学部	学校教育課程			0													0	0	0	
	国際文化課程			0						1							1	0	1	
	人間環境課程			0													0	0	0	
	美術・工芸課程			0													0	0	0	
	3年次編入			0																
	計				0	0	0	0	0	0	1	0					1	0		
		0	0	0	0		0		0		1								1	
経済学部	経済学科	110		440	72	38	66	47	79	41	77	40					294	166	460	
	経営学科	80		320	35	48	40	40	39	48	57	40					171	176	347	
	経済法学科	70		280	29	41	42	30	39	36	43	38					153	145	298	
	計				136	127	148	117	157	125	177	118					618	487		
		260	0	1,040	263		265		282		295									1,105
医学部	医学科	103		627	65	51	44	60	54	44	55	49	57	44	65	46	340	294	634	
	看護学科	60		240	1	59	3	59	1	60	1	57					6	235	241	
	計				66	110	47	119	55	104	56	106	57	44	65	46	346	529		
		163		867	176		166		159		162		101		111					875
理工学部	数理科学科			0							7						7	0	7	
	物理科学科			0							5						5	0	5	
	知能情報システム学科			0							17	1					17	1	18	
	機能物質化学科			0							18	4					18	4	22	
	機械システム工学科			0					1		21	2					22	2	24	
	電気電子工学科			0					2		16						18	0	18	
	都市工学科			0					1		15	1					16	1	17	
	理工学科	480		1,920	423	77	405	96	412	108	418	77					1,658	358	2,016	
	3年次編入		15	30					(14)	(1)	(14)	(1)					(28)	(2)	(30)	
計				423	77	405	96	416	108	517	85					1,761	366			
	480	15	1,950	500		501		524		602									2,127	
農学部	応用生物科学科			0						4	1						4	1	5	
	生物環境科学科			0					1	2							3	0	3	
	生命機能科学科			0							1						0	1	1	
	生物資源科学科	145		580	47	100	57	101	55	98	58	90					217	389	606	
	3年次編入								(6)	(1)	(6)	(3)					(12)	(4)	(16)	
計				47	100	57	101	56	98	64	92					224	391			
	145		580	147		158		154		156									615	
合計				742	582	727	602	750	617	884	600	57	44	65	46	3,225	2,491			
	1,278	20	5,367	1,324		1,329		1,367		1,484		101		111					5,716	

(注) 1. ( ) は3年次編入学で内数

(注) 2. 外国人留学生含む

# 学生数（大学院）

令和4年5月1日現在

研究科	課程	専攻	入学定員	収容定員	1年次		2年次		3年次		4年次		男計	女計	計
					男	女	男	女	男	女	男	女			
学校教育学研究科	専門職学位課程	教育実践探究専攻	20	40	8	12	9	11					17	23	40
		計			8	12	9	11					17	23	
			20	40	20		20								
地域デザイン研究科	修士課程	地域デザイン専攻	20	40	7	14	12	12					19	26	45
		計			7	14	12	12					19	26	
			20	40	21		24								
医学系研究科	修士課程	医科学専攻		0	0	0	0						0	0	0
		看護学専攻		0	0	0	0	3					0	3	3
		計		0	0	0	3					0	3		3
		0	0	3										3	
先進健康科学研究科	修士課程	先進健康科学専攻	52	104	36	16	44	26					80	42	122
		計			36	16	44	26					80	42	
			52	104	52		70								
理工学研究科	修士課程	理工学専攻		0		7	3					7	3	10	
		計		0	0	7	3					7	3		
			0	0	10										10
理工学研究科	博士前期課程	理工学専攻	167	334	157	22	134	22					291	44	335
		計			157	22	134	22					291	44	
			167	334	179		156								
農学系研究科	修士課程	生物資源科学専攻	32	64	20	18	22	18					42	36	78
		計			20	18	22	18					42	36	
			32	64	38		40								
医学系研究科	博士課程	医科学専攻	25	100	9	3	12	8	7	6	27	19	55	36	91
		計			9	3	12	8	7	6	27	19	55	36	
			25	100	12		20		13		46				
工学系研究科	博士後期課程	システム創成科学専攻		24		6	4	17	4			23	8	31	
		計		0	0	6	4	17	4			23	8		
			24	0	10		21								31
理工学研究科	博士後期課程	理工学専攻	20	40	17	3	7					24	3	27	
		計			17	3	7	0				24	3		
			20	40	20		7								27
合計			336	746	342		360		34		46		558	224	782

学部	専攻	入学定員	1年次		2年次		3年次		男計	女計	計
			男	女	男	女	男	女			
鹿児島大学大学院連合農学研究科	生物生産科学専攻	7	3	1	2	1	4	2	9	4	13
	応用生命科学専攻	8	3	2	1	1	2		6	3	9
	農水圏資源環境学専攻	8	1			1	2	1	3	2	5
合計			7	3	3	3	8	3	18	9	
		23	10		6		11				27

(注) 1. 入学定員は、鹿児島大学大学院連合農学研究科の入学定員を示し、学生数は、本学で教育・研究指導を受けている数を示す。  
 (注) 2. 外国人留学生含む

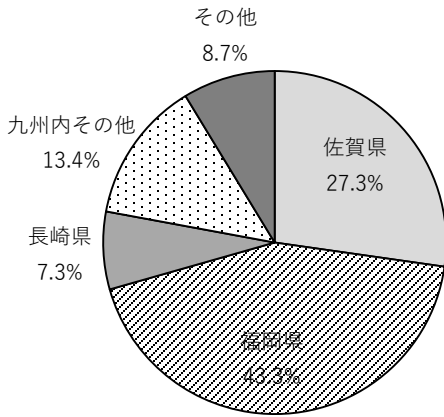
# 入学状況

令和4年5月1日現在

学部	入学定員A	入学志願者B	受験者C	合格者D	入学者E	B/A	C/D
教育学部	120	*0 638 (398)	*0 394 (249)	*0 138 (83)	*0 124 (78)	5.3	2.9
芸術地域デザイン学部	110	*4 404 (317)	*3 314 (243)	*3 118 (95)	*3 111 (89)	3.7	2.7
経済学部	260	*16 1,049 (415)	*16 679 (280)	*3 312 (150)	*1 261 (127)	4.0	2.2
医学部	163	*0 868 (582)	*0 548 (387)	*0 172 (116)	*0 162 (108)	5.3	3.2
理工学部	480	*7 2,515 (440)	*7 1,603 (280)	*2 561 (98)	*0 495 (76)	5.2	2.9
農学部	145	*1 596 (392)	*1 394 (252)	*0 168 (115)	*0 146 (100)	4.1	2.3
計	1,278	*28 6,070 (2,544)	*27 3,932 (1,691)	*8 1,469 (657)	*4 1,299 (578)	4.7	2.7

※ ( ) は、内数で女子を示す。 ※ \*は、外数で外国人留学生を示す。

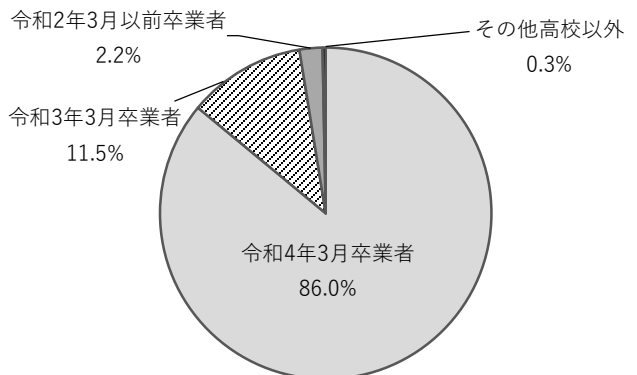
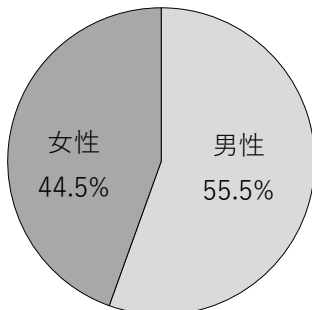
## 地区別入学者数と入学状況



学部	佐賀県	福岡県	長崎県	九州内その他	その他	計
教育学部	43人 34.7%	38人 30.6%	9人 7.3%	21人 16.9%	13人 10.5%	124人
芸術地域デザイン学部	22人 19.8%	56人 50.5%	9人 8.1%	22人 19.8%	2人 1.8%	111人
経済学部	64人 24.5%	114人 43.7%	21人 8.0%	25人 9.6%	37人 14.2%	261人
医学部	49人 30.2%	63人 38.9%	11人 6.8%	18人 11.1%	21人 13.0%	162人
理工学部	141人 28.5%	212人 42.8%	32人 6.5%	76人 15.4%	34人 6.9%	495人
農学部	35人 24.0%	80人 54.8%	13人 8.9%	12人 8.2%	6人 4.1%	146人
計	354人 27.3%	563人 43.3%	95人 7.3%	174人 13.4%	113人 8.7%	1,299人

## 男女別、卒業年度別入学者数

入学者	内 訳			
	令和4年3月卒業生	令和3年3月卒業生	令和2年3月以前卒業生	その他高校以外
合計 1,299人 (男性 721 55.5%) (女性 578 44.5%)	1,117人 86.0%	149人 11.5%	29人 2.2%	4人 0.3%



# 卒業生の進路状況

令和3年度卒業生（2021.4～2022.3）

令和4年5月1日現在

学部	性別	卒業・修了者数	就職内訳			進学	その他
			民間企業	教員等※2	公務員		
教育学部	男	47	7	25	3	6	6
	女	81	14	43	4	10	10
	計	128	21	68	7	16	16
芸術地域 デザイン学部	男	27	18	0	0	3	6
	女	87	56	0	5	10	16
	計	114	74	0	5	13	22
文化教育学部	男	2	0	1	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0
	計	2	0	1	0	0	1
経済学部	男	157	102	0	23	7	25
	女	118	87	0	16	3	12
	計	275	189	0	39	10	37
医学部※1	男	54	49	0	1	1	3
	女	107	97	1	7	1	1
	計	161	146	1	8	2	4
理工学部	男	405	156	6	19	199	25
	女	90	46	2	5	32	5
	計	495	202	8	24	231	30
農学部	男	74	26	2	12	29	5
	女	91	53	0	9	24	5
	計	165	79	2	21	53	10
学部 計	男	766	358	34	58	245	71
	女	574	353	46	46	80	49
	計	1,340	711	80	104	325	120
学校教育学研究科	男	10	0	4	0	0	6
	女	10	0	2	0	0	8
	計	20	0	6	0	0	14
地域デザイン研究科	男	9	2	0	0	0	7
	女	10	2	1	1	1	5
	計	19	4	1	1	1	12
医学系研究科 (修士課程)	男	1	0	0	0	0	1
	女	6	0	0	0	0	6
	計	7	0	0	0	0	7
先進健康科学研究科	男	33	26	0	0	4	3
	女	20	9	0	1	2	8
	計	53	35	0	1	6	11
工学系研究科 (博士前期課程)	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0
理工学研究科	男	146	130	2	1	6	7
	女	16	13	0	0	0	3
	計	162	143	2	1	6	10
農学研究科	男	16	13	0	1	0	2
	女	9	6	0	3	0	0
	計	25	19	0	4	0	2
医学系研究科 (博士課程)	男	13	0	0	0	0	13
	女	7	1	0	0	0	6
	計	20	1	0	0	0	19
工学系研究科 (博士後期課程)	男	17	6	7	0	0	4
	女	4	2	0	0	0	2
	計	21	8	7	0	0	6
大学院 計	男	245	177	13	2	10	43
	女	82	33	3	5	3	38
	計	327	210	16	7	13	81
合計	男	1,011	535	47	60	255	114
	女	656	386	49	51	83	87
	計	1,667	921	96	111	338	201

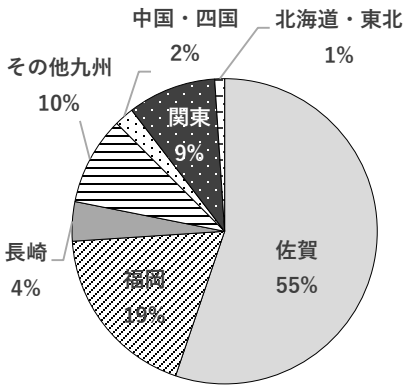
※1 医学部医学科については、卒後臨床研修制度（初期研修）の研修先を提示しています。  
国立大学法人や国立病院機構は民間企業に含みます。

※2 教職員等には、生活指導（支援）員・ICT支援員・こどもサポーター等を含みます。

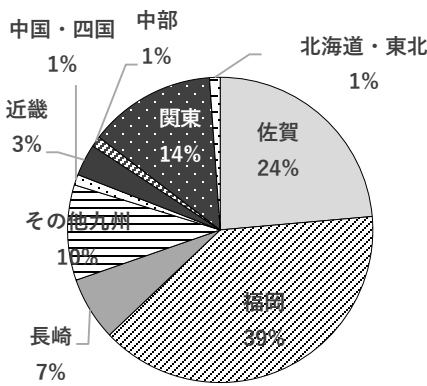
# 卒業生の進路状況

## 地区別就職状況

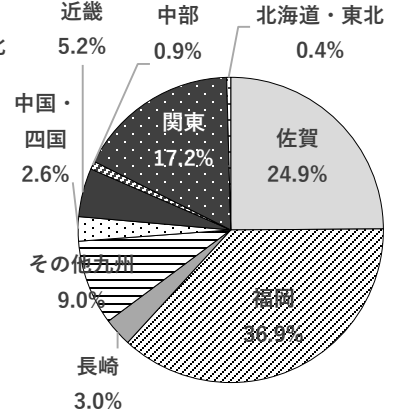
### 教育学部



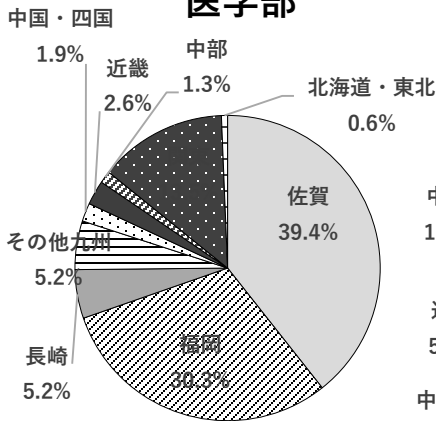
### 芸術地域デザイン学部



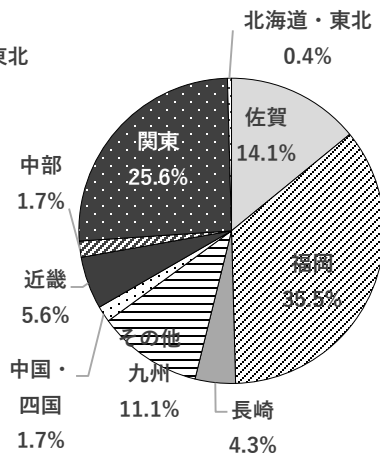
### 経済学部



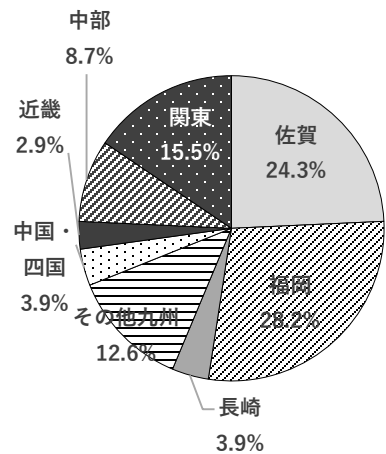
### 医学部



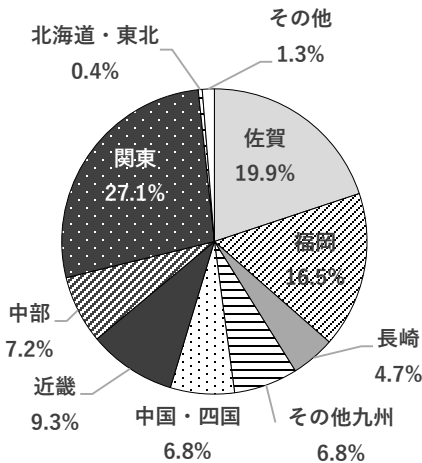
### 理工学部



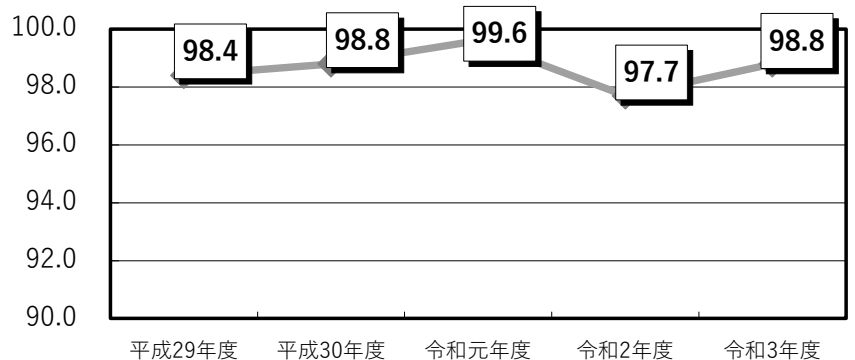
### 農学部



### 大学院



### 過去5年間の就職率の推移

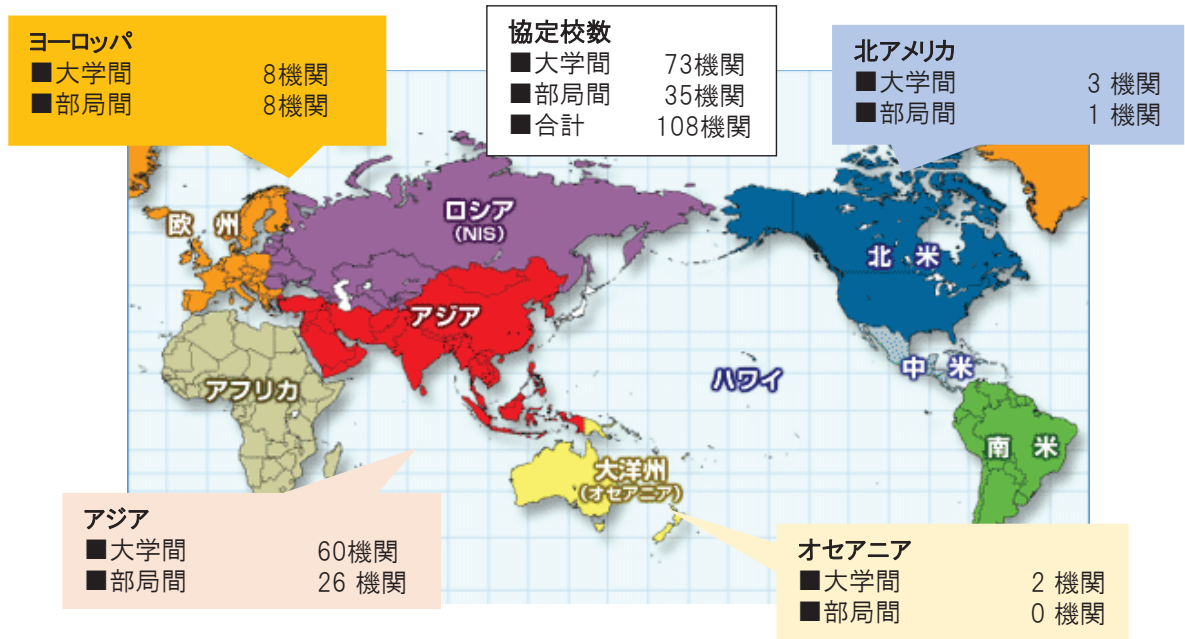


\*学部生の就職率（5月1日現在）。九州の国立大学の中で、常に上位。





# 学術交流



令和3年5月1日現在

区分	国・地域	大学間	部局間協定									プログラム協定		
			教育学部	芸術地域デザイン学部	経済学部	医学部	理工学部	農学部	海洋エネルギー研究センター	シンクロtron光応用研究センター	肥前セラミック研究センター	合計	DDP協定校	
アジア	大韓民国	10					2				1	1	4	1
	中華人民共和国	12			1		3		1	2		7		
	台湾	8				1						1	2	
	ベトナム	5					2					2		
	社会主義共和国	5					2					2		
	カンボジア王国	2										0		
	ラオス	1										0		
	人民民主共和国	1										0		
	タイ王国	5					3					3		
	マレーシア	5					1	1				2		
	インドネシア共和国	12					3	1				4		
	バングラデシュ	4					1					1		
	人民共和国	4					1					1		
	スリランカ民主	1										0		
社会主義共和国	1										0			
ネパール連邦						1					1			
民主共和国						1					1			
セヤンマー連邦						1					1			
共和国						1					1			
計	60	0	0	1	1	17	2	1	3	1	26	3		
ヨーロッパ	英国											1		
	フランス共和国	3					1		1			2		
	ドイツ連邦共和国	1					1					1		
	ポーランド共和国	1										0		
	リトアニア共和国	1										0		
	フィンランド共和国	1										0		
	チェコ共和国						1					1		
	ロシア連邦									1		1		
	カザフスタン共和国						1					1		
	オランダ王国	1							1			1		
計	8	0	0	0	0	4	0	2	2	0	8			
北アメリカ	アメリカ合衆国	2				1						1		
	カナダ	1										0	0	
	計	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1		
オセアニア	オーストラリア連邦	2										0	0	
合計	73	0	1	0	2	21	2	3	5	1	35	3		

区分	国・地域	学術交流協定大学等	協定締結年月
大学間			
アジア	大韓民国	全南大学校	平 3. 3. 8 令2. 9.30更新
		安東大学校	平 9.12.11
		国民大学校	平11. 3.29 令2. 11.17更新
		釜山大学校	平12. 2. 2 令2. 9.30更新
		釜慶大学校	平14. 4.18 令2. 9.30更新
		済州大学校	平14. 8. 9 令2. 11.13
		韓国技術教育大学	平14. 10. 8 令2. 9.30更新
		培材大学校	平18. 7.11 令2. 9.30更新
		牧園大学校	平19. 5.16 令2. 11.17更新
		大邱大学校	平19. 6.26 令2. 12.28更新
	中華人民共和国	華東師範大学	平10. 5.15 令2. 11.16更新
		北京工業大学	平10. 12. 8 令2. 11.11更新
		首都師範大学	平11. 4.12 令2. 11.11更新
		中国農業大学	平12. 10.17
		遼寧師範大学	平13. 11. 6 令2. 11.2更新
		ハルビン工業大学	平13. 11.12 令2. 11.6更新
		華東理工大学	平15. 4. 1
		浙江理工大学	平16. 9. 6 令2. 12.14更新
		西南政法大学	平19.10.31 令2. 11.23更新
		浙江科技学院	平19.12.25
		遼寧大学	平20. 4.30 令2. 9.30更新
		温州大学	平30. 5.28
		台湾	輔仁カトリック大学
	国立政治大学		平16. 9.13
	国立中興大学		平16. 9.14 令2. 11.9更新
	国立台北大学		平17. 10. 6 令2.11.11更新
	国立東華大学		平18. 6.30 令2. 11.4更新
	元培科技大学		平19. 7. 6 令2. 9.30更新
	文藻外語大学		平21. 9. 4 令2. 10.30更新
	国立勤益科技大学		令元. 6.28
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家農業大学(旧ハノイ農業大学)	平12. 12. 7 令2. 12.4更新
		ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学	平19. 8. 6 令2. 11.10更新

# 学術交流

令和3年5月1日現在

区分	国・地域	学術交流協定大学等	協定締結年月	
大学間				
アジア	ベトナム社会主義共和国	アンザン大学	平25. 3. 11 令2. 11.6更新	
		カントー大学	平28. 8. 21	
		ベトナム国家大学ハノイ校経済大学	令元. 9.24	
	カンボジア王国	プノンペン王立法経大学	平19. 8.24 令2. 11.17更新	
		王立プノンペン大学	平24.11.30	
	ラオス人民民主共和国	ラオス国立大学	平22. 1. 26	
	タイ王国	カセサート大学	平 8. 12. 6 令2. 12.28更新	
		コンケン大学	平10. 9.28	
		チェンマイ大学	平17. 9. 9 令2. 11.3更新	
		モンクット王ラカバン工科大学	平20. 1. 3 令2. 11.16更新	
		タマサート大学	平25. 2. 13 令2. 11.18更新	
		インドネシア共和国	ハサヌディン大学	平13. 3. 9 令2. 11.11更新
	ガジャマダ大学		平13. 11. 1 令3. 1.8更新	
	サムラツランギ大学		平14. 9.13	
	リアウイスラム大学		平15. 7. 2 令2. 11.20更新	
	スリビジャヤ大学		平19.6.11 令2. 11.30更新	
	ダルマプルサダ大学		平21. 9. 4	
	セベラスマレット大学		平23. 3.28 令2. 12.30更新	
	ジュアンダ大学		平23. 7.15 令2. 9.30更新	
	マラン国立大学		平23.12. 7 令2. 12.16更新	
	ボゴール農業大学		平23.12.27 令2. 11.13更新	
	ブラウイジャヤ大学		平26 4.14 令2. 9.30更新	
	スラバヤ工科大学		令元. 5.21	
	バングラデシュ人民共和国		バングラデシュ工科大学	平13. 4.27 令2. 10.30更新
		ジャハンギールナガール大学	平22. 7.26	
		チッタゴン工科大学	平22. 9.30	
		ダッカ工科大学	平25. 2.20	
	スリランカ民主社会主義共和国	ペラデニヤ大学	平11. 11.30 令2. 10.30更新	
	ヨーロッパ	フランス共和国	ブルゴーニュ大学	平15. 7. 1 平30. 3.30更新
			オルレアン大学	平17. 3.31 令2. 6.16更新
			バイオ産業大学	平29. 11. 6
		ドイツ連邦共和国	ブルク・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学ハレ	平29. 3.30
オランダ王国		デザインアカデミーアイントホーフェン	平28. 10.19	
ポーランド共和国		ルブリン工科大学	平18. 3. 3 令2. 9.30更新	
リトアニア共和国		ヴィタウタス・マグナス大学	平25. 8.26 令2. 11.26更新	
フィンランド共和国		ユバスキュラ大学	平25. 11. 8 令2. 12.10更新	

# 学術交流

令和3年5月1日現在

区分	国・地域	学術交流協定大学等	協定締結年月
<b>大学間</b>			
北アメリカ	アメリカ合衆国	パシフィック大学	平20. 2.29 令2. 11.12更新
		スリッパリーロック大学	平24. 4. 4 平29. 8.9更新
	カナダ	ウルフリッド・ロリエ大学	平22. 7.13
オセアニア	オーストラリア連邦	ラトローブ大学	平15. 7.31 平28. 8.31更新
		シドニー工科大学	平24. 8.28 平29. 7.18更新
<b>経済学部</b>			
アジア	中華人民共和国	中国社会科学院世界経済政治研究所	平 6. 6.30 令2.7.22更新
<b>医学部</b>			
アジア	台湾	輔仁カトリック大学 医学部	平25. 3.15 令元. 9.18更新
北アメリカ	アメリカ合衆国	ハワイ大学 ジョンA・バーンズ医学部	平14. 2.14 令元. 12. 5更新
<b>理工学部</b>			
アジア	大韓民国	延世大学校	平17. 4.11 令 2. 3.18更新
		韓国交通大学	平27.9.15
	中華人民共和国	武漢大学 電気工程学院	平14. 11.27
		同済大学 土木行程学院	平27. 5. 7
		蘇州大学 材料与化学化工学部	平30. 1.30
	ベトナム社会主義共和国	チュイロイ大学	平 30. 3.7
		ベトナム国家大学ホーチミン市校情報技術大学	平31. 2.21
	タイ王国	チュラロンコン大学 理学部	平15. 3.28 令 2. 2. 6更新
		チュラロンコン大学 工学部	令元.12.23
		スラナリー工科大学 工学部	平25. 2. 19
	インドネシア共和国	ランブング・マンクラット大学	平28. 1. 20
		カリマンタン工科大学	令 2. 1. 8
		ブンハッタ大学	令 2. 3.18
	バングラデシュ人民共和国	オルナ工業技術大学(旧バングラデシュ工科大学クルナ校)	平12. 3. 1
	ミャンマー連邦共和国	クンゴン工科大学	平27. 6. 22
	マレーシア	ヤウン・フセイン・オン大学	平27.12. 9
ネパール連邦民主共和国	マリブーバン大学 理工学部	平15. 3. 2	
ヨーロッパ	フランス共和国	ケール大学	平28. 12. 8
	ドイツ連邦共和国	ドレスデン工科大学 科学校	平27. 3. 27 令2.6.18更新
	チェコ共和国	ブラハ化学技術大学	平10. 7.20
	カザフスタン共和国	カザフ建築土木高等アカデミー	平30. 7.20



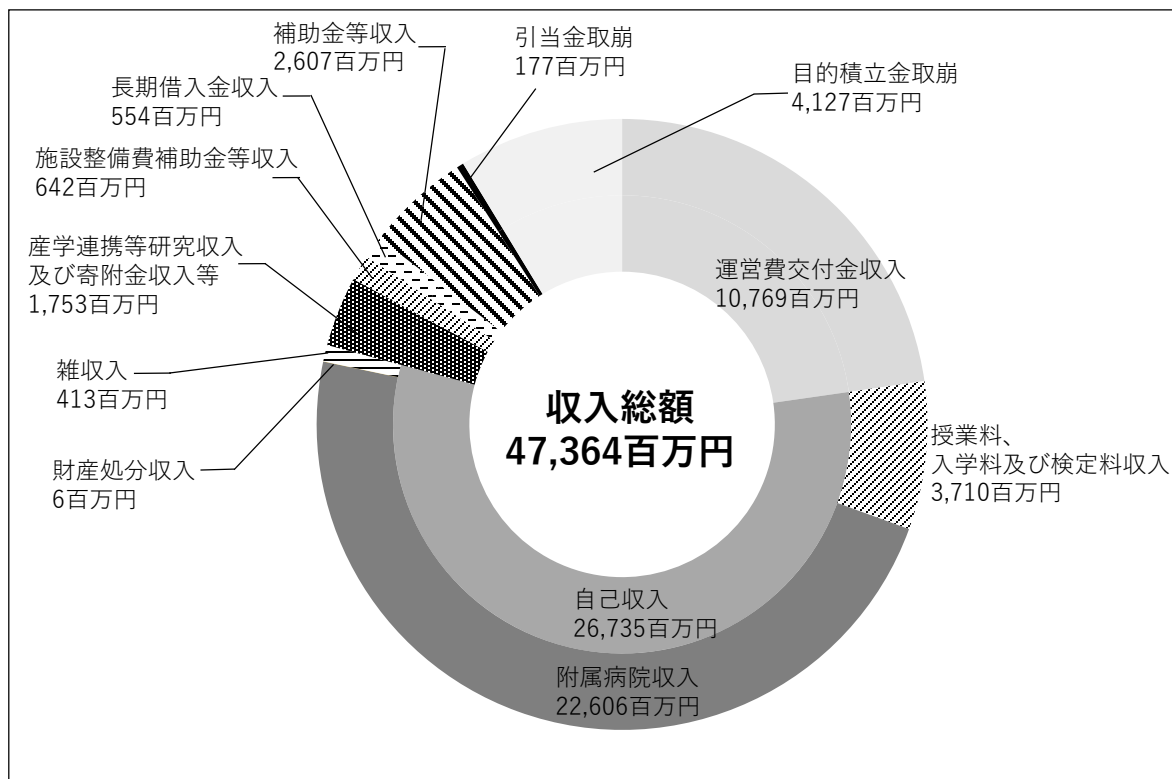
# 学術交流

令和3年5月1日現在

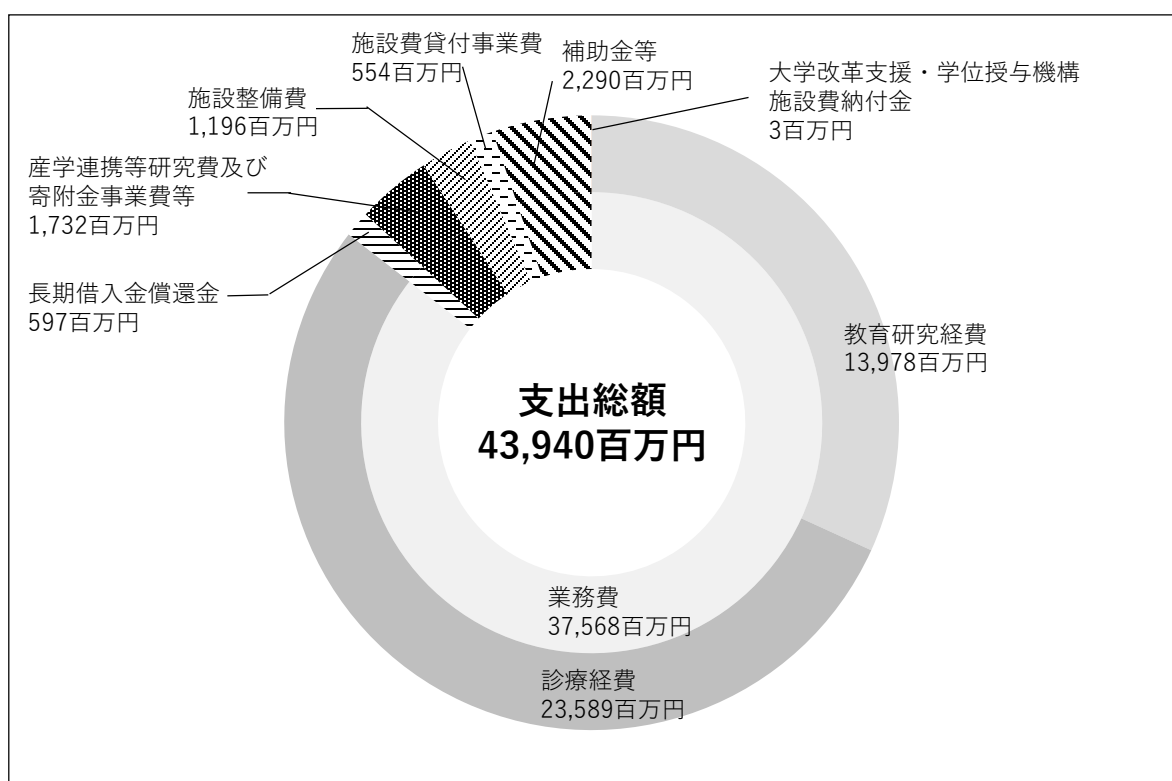
区分	国・地域	学術交流協定大学等	協定締結年月
<b>農学部</b>			
アジア	マレーシア	マレーシアプトラ大学農学部	平元. 3.16
	インドネシア共和国	ジェンデラル・スティルマン大学 農学部	平30.10. 23
<b>海洋エネルギー研究センター</b>			
アジア	中華人民共和国	大連理工大学 海洋科学技術学院	平27. 1. 21 令3. 2. 1更新
ヨーロッパ	フランス共和国	レユニオンPIMENT研究所	平30. 3. 6
	オランダ王国	デルフト工科大学,ブルーライズ社,株式会社ゼネシス	平29. 2. 9
<b>シンクロtron光応用研究センター</b>			
アジア	大韓民国	浦項工科大学校 浦項加速器研究所	平18. 3. 6 平28. 6.10 更新
	中華人民共和国	上海交通大学 複合材料研究所	平14. 4. 1 平29. 2.23更新
		上海応用物理研究所上海シンクロtron光施設	平23. 4. 6 平28. 5.26 更新
ヨーロッパ	英国	リバプール大学物理学教室	平18. 4. 1 平28.12. 9更新
	ロシア連邦	ロシア研究センター クリチャトフ研究所 クリチャトフ シンクロtron放射光及びナノテクノロジー 研究センター	平22. 9. 9 平29. 1.17更新
<b>肥前セラミック研究センター</b>			
アジア	大韓民国	韓国窯業技術院Icheon分院	令元. 1. 3
<b>DDP協定校</b>			
アジア	大韓民国	全南大学校	*平17. 6.23
	台湾	輔仁カトリック大学	*平17. 1.12
		国立中興大学	*平17. 8.24

# 決算（収入・支出額）

## 令和3年度 収入



## 令和3年度 支出



# 土地・建物

## 本庄地区

部局等	土地	建物延面積
事務局	283,630	5,678
保健管理センター		450
教育学部		9,588
芸術地域デザイン学部		3,919
経済学部		4,716
理工学部		38,921
農学部		15,459
附属図書館		5,338
全学教育機構		9,205
総合教育研究施設		6,146
海洋エネルギー研究所		170
リージョナル・イノベーションセンター		719
総合分析実験センター		1,075
総合情報基盤センター		911
シンクロトロン光応用研究センター（担当教員室）		266
地域学歴史文化研究センター		133
国際交流推進センター		318
体育館・武道場		3,013
国際交流会館		3,304
楠葉寮（附属施設共）		2,693
学術交流施設（菱の美会館、寄附建物）		748
福利厚生施設（かささぎホール、大学会館）		2,781
課外活動施設（サークル会館）		2,665
美術館		1,381
その他（管理施設、設備室等）		4,246
計		283,630

## 鍋島地区

部局等	土地	建物延面積
講義棟・実習棟・研究棟等	235,424	31,700
体育館・課外活動施設等		2,535
大学会館(福利施設)		1,201
非常勤講師等宿泊施設（思誠館）		425
動物実験施設・RI実験施設		4,542
附属図書館医学分館		1,769
附属病院		64,548
高エネルギー治療棟・MRI棟・RI治療棟		2,368
看護師宿舎等		4,853
管理棟		2,824
その他施設（保育所を含む）		6,118
計	235,424	122,883

## その他地区

部局等	土地	建物延面積
附属幼稚園	(291) 3,098	744
附属小学校	17,426	5,624
附属中学校	22,394	6,379
附属特別支援学校	19,915	3,677
附属アグリ創生教育研究センター	93,328	2,745
附属アグリ創生教育研究センター実習田	6,733	0
附属アグリ創生教育研究センター果樹園	75,978	288
附属アグリ創生教育研究センター（唐津キャンパス）	(4,801)	988
有田キャンパス	13,469	6,028
役職員宿舎（237戸）	30,458	15,450
先端研究・教育施設	2,124	689
合宿研修所	9,940	205
旧ポート艇庫	441	0
海洋エネルギー研究所	(11,168)	4,518
はちがめサテライト学生研修棟	(243)	73
計	(16,503) 295,304	47,408

	土地	建物延面積
総数	(16,503) 814,358	294,134

※単位はm<sup>2</sup>

※土地欄の（）書きは、借上分で外数

# 所在地・連絡先

部局等	電話番号	所在地
事務局	0952-28-8113	〒840-8502 佐賀市本庄町1
アドミッションセンター	0952-28-8178	〒840-8502 佐賀市本庄町1
キャリアセンター	0952-28-8497	〒840-8502 佐賀市本庄町1
リージョナル・イノベーションセンター	0952-28-8958	〒840-8502 佐賀市本庄町1
国際交流推進センター	0952-28-8203	〒840-8502 佐賀市本庄町1
教育学部	0952-28-8213	〒840-8502 佐賀市本庄町1
附属幼稚園	0952-24-2745	〒840-0054 佐賀市水ヶ江1丁目4-45
附属小学校	0952-26-1005	〒840-0041 佐賀市城内2丁目17-3
附属中学校	0952-26-1001	〒840-0041 佐賀市城内1丁目14-4
附属特別支援学校	0952-29-9676	〒840-0026 佐賀市本庄町正里46-2
芸術地域デザイン学部	0952-28-8349	〒840-8502 佐賀市本庄町1
有田キャンパス	0955-29-8888	〒844-0013 佐賀県西松浦郡有田町大野乙2441-1
経済学部	0952-28-8413	〒840-8502 佐賀市本庄町1
医学部	0952-31-6511	〒849-8501 佐賀市鍋島5丁目1-1
医学部附属病院	0952-31-6511	〒849-8501 佐賀市鍋島5丁目1-1
理工学部	0952-28-8513	〒840-8502 佐賀市本庄町1
農学部	0952-28-8713	〒840-8502 佐賀市本庄町1
附属アグリ創生教育研究センター	0952-98-2245	〒849-0903 佐賀市久保泉町下和泉1841
唐津キャンパス	0955-77-4484	〒847-0021 唐津市松南町152-1
全学教育機構	0952-28-8334	〒840-8502 佐賀市本庄町1
附属図書館	0952-28-8902	〒840-8502 佐賀市本庄町1
美術館	0952-28-8333	〒840-8502 佐賀市本庄町1
保健管理センター（本庄キャンパス）	0952-28-8181	〒840-8502 佐賀市本庄町1
保健管理センター（鍋島キャンパス）	0952-34-3215	〒849-8501 佐賀市鍋島5丁目1-1
海洋エネルギー研究所（本部） 伊万里サテライト 久米島サテライト 嬉野サテライト	0952-28-8624 0955-20-2190	〒840-8502 佐賀市本庄町1 〒849-4256 伊万里市山代町久原字平尾1-48 〒901-3104 沖縄県島尻郡久米島町真謝500-1 （沖縄県海洋深層水研究所内） 〒843-0301 嬉野市嬉野町下宿乙2172番地
総合分析実験センター（本庄キャンパス） 生物資源開発部門 機器分析部門 環境安全部門	0952-28-8898 0952-28-8896 0952-28-8552	〒840-8502 佐賀市本庄町1
総合分析実験センター（鍋島キャンパス） 生物資源開発部門 機器分析部門 放射性同位体元素利用部門 環境安全部門	0952-34-2431 0952-34-2404 0952-34-2421 0952-34-2421	〒849-8501 佐賀市鍋島5丁目1-1
総合情報基盤センターメインセンター（本庄キャンパス） 総合情報基盤センター医学部サブセンター（鍋島キャンパス）	0952-28-8592 0952-34-2154	〒840-8502 佐賀市本庄町1 〒849-8501 佐賀市鍋島5丁目1-1
シンクロトロン光応用研究センター	0952-28-8854	〒840-8502 佐賀市本庄町1
シンクロトロン光応用研究センター（鳥栖支所）	0942-82-8062	〒841-0005 鳥栖市弥生が丘8丁目7番地（九州シンクロトロン光研究センター内）
地域学歴史文化研究センター	0952-28-8378	〒840-8502 佐賀市本庄町1
肥前セラミック研究センター（有田キャンパス）	0955-29-8888	〒844-0013 佐賀県西松浦郡有田町大野乙2441-1
東京オフィス	03-6272-3087	〒102-0083 東京都千代田区麹町3丁目5-8麹町センタービル203号（東京佐賀県人会内）